

がん、感染症、難病、生活習慣病などの関する遺伝子とタンパク質などの網羅的研究

上記研究のがん部門として乳がんにおける下記のような研究を行ってまいりました。

同様の研究を新たに“乳がんにおける遺伝子変異の同定と臨床的応用”

の研究計画のもとに実施していく予定です。

乳がん

論文

1. Intrinsic HER2 V777L mutation mediates resistance to trastuzumab in a breast cancer patient.
Hirotzu Y*, Nakagomi H, Amemiya K, Oyama T, Inoue M, Mochizuki H, Omata M
Medical oncology. 2017;34(1):3.
*corresponding author
2. Rapid and Drastic Changes of Circulating Tumor DNA (ctDNA) in Serially Sampled Plasma during Treatment of Breast Cancer
Nakagomi H, Hirotzu Y, Amemiya K, Nakada K, Inoue M, Mochizuki H, Oyama T, Omata M *American J Case Report.* 2017;18:26-32.
3. A study of tumor heterogeneity in a case with breast cancer
Nakada H, Nakagomi H, Hirotzu Y, Amemiya K, Mochizuki H, Inoue M, Oyama T, Omata M
Breast Cancer. 2016 *in press*
4. 弘津陽介
これからの乳癌診療2016-2017 次世代シークエンサーを導入した乳癌の診療 金原出版 2016年6月

学会発表

1. 中込博、弘津陽介、雨宮健司、井上正行、中田晴夏、小俣政男
Plasma 中の 53 乳癌関連遺伝子 cf (Cell Free) DNA の抗癌剤治療前後での推移 第 53 回 日本癌治療学会、京都、2015/10/29~31 (口頭発表)
2. 中込博、井上正行、中田晴夏、雨宮健司、弘津陽介、小山敏雄、小俣政男
再発乳癌での治療選択における細胞診の活用;セルブロックとゲノム解析の導入” 第 53 回 日本癌治療学会、京都、2015/10/29~31 (口頭発表)
3. 中込博、弘津陽介、雨宮健司、坂本育子、望月仁、井上正行、小俣政男
乳癌治療例で劇的な治療反応性を示した Circulating TumorDNA (ct DNA) 第 74 回日本癌学会学術総会、名古屋、2015. 10. 8~10 (ポスター発表)
4. 中込 博、弘津 陽介、井上 正行、坂本 育子、雨宮 健司、小俣 政男
Trastuzumab 不応 Her2 陽性乳がん症例での不応性耐性機序の検討 第 13 回日本臨床腫瘍学会学術集会、札幌、2015. 7. 16~18 (口頭発表)
5. 高橋 和徳、中込 博、弘津 陽介、井上 正行、坂本 育子、雨宮 健司、小俣 政男
次世代シークエンサーによる Trastuzumab 耐性 Her2 陽性乳癌症例の癌部および血中 Circulating Tumor DNA 解析 第 2 回日本乳癌学会学術総会、東京、2015. 7. 2~7. 4 (ポスター発表)
6. 中込 博、弘津 陽介、井上 正行、坂本 育子、雨宮 健司、望月 仁、小俣 政男
再発乳癌例における ctDNA (Liquid Biopsy) の連続的な解析 第 19 回日本がん分子標的治療学会、愛媛、2015. 6. 10~12、(ポスター発表)
7. 中込博、井上正行、弘津陽介、望月仁、小俣政男
乳癌診療における Cell Free DNA (cf DNA) 解析の有用性と課題 第 75 回日本癌学会学術総会、横浜、2016/10/6-8 (ポスター発表)
8. 弘津陽介、中込 博、井上 正行、雨宮 健司、小山 敏雄、望月 仁、小俣 政男
Genetic analysis for trastuzumab-resistance in HER2-amplified breast cancer 第 14 回日本臨床腫瘍学会学術集会、神戸、2016/7/28-30 (口頭発表)
9. 井上 正行、中込 博、中田 晴夏、雨宮 健司、石井 恵理、弘津 陽介、小山 敏雄、小俣 政男
浸潤性小葉癌腹膜転移の分子生物学的解析 第 14 回日本臨床腫瘍学会学術集会、神戸、2016/7/28-30 (口頭発表)

10. 中込博、弘津 陽介、雨宮 健司、望月 仁、中田 晴夏、井上 正行、小山 敏雄、小俣 政男
進化系統樹を用いた乳がんにおける腫瘍内不均一性と治療上の展望 第 14 回日本臨床腫瘍学会学術集会、神戸、2016/7/28-30 (ミニシンポジウム)
11. 井上 正行、中込 博、中田 晴夏、雨宮 健司、弘津 陽介、小山 敏雄、小俣 政男
乳癌における IDO を標的とした新しい免疫療法の可能性 第 24 回日本乳癌学会学術総会、東京、2016/6/16-18 (シンポジウム、口頭発表)
12. 腫瘍内多様性を鑑みた乳癌治療のさらなる個別化の試み
中込 博、弘津 陽介、雨宮 健司、望月 仁、井上 正行、小俣 政男 第 20 回日本がん分子標的治療学会学術集会、大分、2016/5/30-6/1 (口頭発表)
13. 弘津 陽介、中込 博、井上 正行、小俣 政男
HER2 陽性乳癌 Trastuzumab 不応例の次世代シーケンス解析による薬物耐性機構の解明、第 25 回日本乳癌学会学術総会、福岡、2017/7/13-15 (厳選口頭)

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。申し出をいただいた時点で、既に学会や論文として発表されている場合は取り消しができないこともあります。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

山梨県立中央病院 乳腺外科 井上 正行

〒400-8506 山梨県甲府市富士見一丁目 1 番 1 号 TEL : 055-253-7111 (代表)

山梨県立中央病院 乳腺外科 井上 正行